

文部科学省大学間連携共同教育推進事業「超高齢社会に対応できる歯科医師の養成」
第2回公開シンポジウムを開催して

昭和大学歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座 歯学教育学部門
片岡 竜太

「超高齢社会で活躍できる歯科医師の養成」5年間のプロジェクトに岩手医科大学と北海道医療大学と関連する9歯科医師会が一緒に取り組み4年が経過しました。この取組の成果を公開するために、第2回公開シンポジウムを平成28年1月23日(土)に岩手県歯科医師会館8020プラザで開催しました。3連携大学と連携校以外の大学、歯科医師会などから100名以上の参加者があり、昭和大学からは8名が参加しました。

岩手医科大学 理事長・学長の小川 彰先生と岩手県歯科医師会 会長 佐藤 保 先生のご挨拶の後、文部科学省高等教育局大学振興課の猪俣志野様に「本取組に期待するもの」として、1)ステークホルダーとの連携を継続的かつ実質的なものにし、2)補助期間終了後の継続を見据えて取組を強化し、3)積極的な情報発言をして欲しいという挨拶文をいただきました。次に日本訪問歯科協会理事長の守口憲三先生に「訪問歯科の過去、現在、未来」というタイトルでご講演をいただきました。守口先生は35年前から患者中心の治療の一環として、訪問歯科診療を始め、通院できない高齢者や障がい者こそ診療や口腔ケアが必要という考えから、16年前に日本訪問歯科協会を設立されました。かかりつけ医やケアマネージャーとの連携や必要な用語、文書など具体的なポイントをわかりやすく話していただきました。超高齢社会で活躍する歯科医師になるために、学生が具体的に何を学ぶべきか考える際に大変参考になる内容でした。

本事業は3,4年生でIT教材を活用して「基礎知識の修得」「コミュニケーション・臨床推論能力の修得」を行い、5年生で、学んだ知識をしっかりと臨床に活用するために、ポートフォリオを用いて振り返りを行っています。シンポジウムでは、城茂治教授(岩手医科大学)が司会を務め、片岡竜太教授(昭和大学)による本事業の全体像の紹介に続いて、1.「学生の立場」で小泉浩二君(岩手医科大学5年生)が初年次からの学外実習での経験とIT教材を活用した学習がどのように実習に役立ったかを話してくれました。IT教育への希望として紙媒体も併用する事、実習現場のビデオを活用する事など参考になる意見を提案してくれました。2.「教員の立場」で越野寿教授(北海道医療大学)は大学教員としてのステークホルダーとの連携、ワーキンググループの中での他大学教員、歯科医師会との協働と教材作成、高齢者に関する歯学部教育に関連して、本プロジェクトが良い機会を与えてくれ、ITを活用した授業が5年生の地域連携歯科医療実習の準備として役立ったというお話をいただきました。3.「歯科医師会の立場」で佐々木勝忠先生(奥州市国保衣川歯科診療所所長)は岩手医大5年生の地域医療体験実習の受け入れ施設として受け入れた学生に対する指導内容を紹介していただきました。学生の感想文から学生にとって充実した実習であったことが窺われましたが、受け入れ施設間で指導内容を統一すべきであり、受け入れ施設指導者に対して研修をすべきであるというご提案をいただきました。総合ディスカッションでは生涯学習ができる人材育成、歯科医師会の指導の下で実施される地域医療実習について活発なディスカッションがなされました。

東京大学の太西弘高先生には外部評価者として、シンポジウムに参加していただきました。ITを活用した教育は妥当な方向に進んでいるが、今後、事業終了後の持続発展可能性、特に高齢者の問題解決を指向した教育という側面での一段の発展が期待されるというコメントをいただきました。

シンポジウムの後は岩手医科大学の三浦廣行学部長をはじめ岩手医科大学、北海道医療大学の教職員の方々と本取組のさらなる発展を祈りつつ懇親会が開かれました。岩手医大の本事業責任者として立ち上げからご尽力いただいた城茂治教授が3月末で退職されるため、3大学有志から花束と記念品を贈呈しました。最後になりましたが、忙しい時期にも関わらず参加していただいた各大学ならびに歯科医師会の先生方、そして会場を提供していただいた岩手県歯科医師会、運営にご尽力いただいた岩手医科大学の教員および事務関係者ならびに協力IT企業に心から御礼申し上げます。

文部科学省 大学間連携共同教育推進事業

IT を活用した超高齢社会の到来に対応できる歯科医師の養成

第2回公開シンポジウム

日 時：平成28年1月23日（土）16時から

場 所：岩手県歯科医師会館 8020 プラザ

司会・進行：岩手医科大学 歯学部 口腔顎顔面再建学講座 歯科麻酔学分野 城 茂治

16:00~16:15	代表者挨拶 岩手医科大学 理事長・学長 小川 彰 岩手県歯科医師会 会長 佐藤 保 文部科学省高等教育局大学振興課大学改革推進室長 猪股志野（代読）
16:15~17:05	講演 「訪問歯科の過去、現在、未来」 日本訪問歯科協会 理事長 守口 憲三 （座長：岩手医科大学 歯学部 教務委員長 佐藤和朗）

シンポジウム 座長：岩手医科大学 歯学部 口腔顎顔面再建学講座 歯科麻酔学分野 城 茂治

17:10~18:15	本事業の成果をより活用する為に—地域連携歯科医療実習への応用— 昭和大学 歯学部 スペシャルニーズ口腔医学講座 歯学教育学部門 片岡 竜太 岩手医科大学 歯学部 第5学年 小泉 浩二 北海道医療大学 歯学部 口腔機能修復・再建学系 咬合再建補綴学分野 越野 寿 岩手県歯科医師会 奥州市国保衣川歯科診療所 佐々木 勝忠
18:20~18:50	総合ディスカッション （座長：岩手医科大学 歯学部 口腔顎顔面再建学講座 歯科麻酔学分野 城 茂治）
19:00~	情報交換会（ホテルメトロポリタン盛岡 スカイメトロ（盛岡駅ビル20階）） 代表者挨拶 岩手医科大学 歯学部長 三浦 廣行